

薄型・軽量キーボード編 もくじ

1章 本製品の準備	1
1 各部の名称 ー外観図ー	1
2 タブレットの取り付け／取りはずし	3
2章 薄型・軽量キーボードを使用する	8
1 電源を入れる	8
2 タッチパッド	9
3 キーボード	11
4 Q&A集	14
付 錄	18
1 デイリーケアとアフターケア	18
2 ご使用にあたってのお願い	19
3 仕様	20

お願い

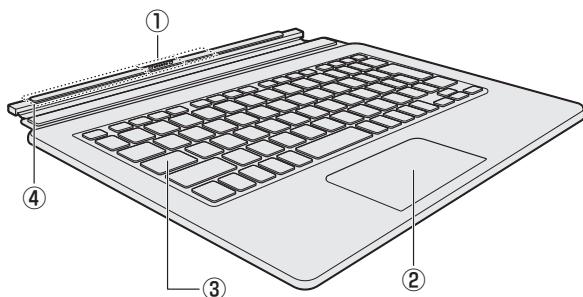
外観図について

- 本製品に表示されているコネクタ／LED／スイッチのマーク（アイコン）、およびキーボード上のマーク（アイコン）は最大構成（モデルによっては選択できない構成があります）を想定しています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。
- 本製品には磁石が内蔵されています。

参照▶ 詳細について [\[磁石の内蔵について（2ページ）\]](#)

1

前面図



① ドッキングコネクタ

② クリックパッド（タッチパッド）、左ボタン、右ボタン

③ キーボード

④ 型番

2 磁石の内蔵について

次の図の枠で囲った部分には、磁石が内蔵されています。

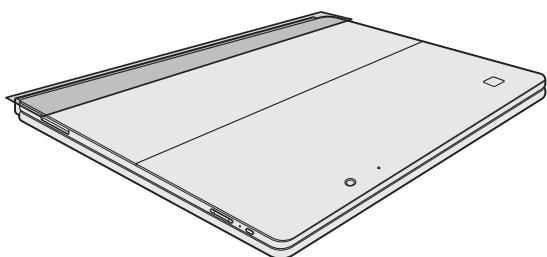
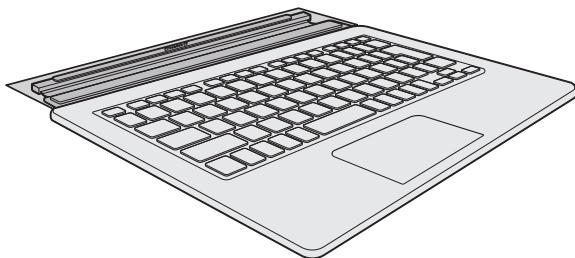
タブレットを取り付けた状態、ディスプレイ（タブレット）を閉じた状態、裏返した状態でも磁気の影響はあります。

！警告

- 心臓ペースメーカーを装着しているかたは、本製品の磁石を近づけない
磁気によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

お願い 磁石について

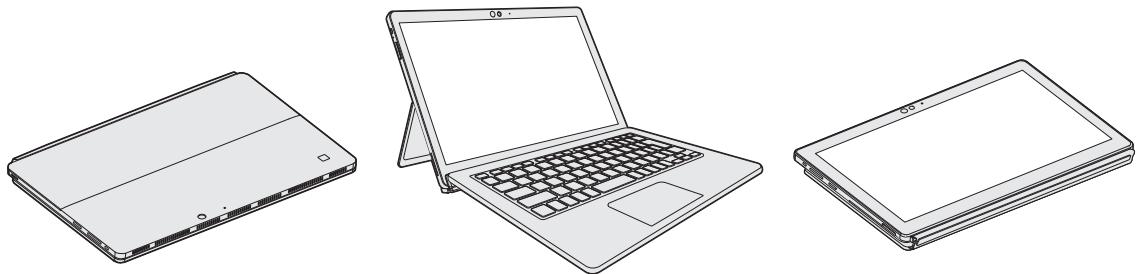
- 磁気カードなどを利用した記憶媒体のデータを壊す可能性がありますので、本製品の磁
石に近づけないようにしてください。



2

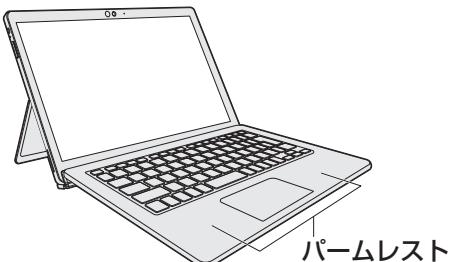
タブレットの取り付け／取りはずし

薄型・軽量キーボードにタブレットを取り付けて、使用できます。



⚠ 注意

- タブレットを薄型・軽量キーボードに接続するときは、タブレットからケーブル類を抜く本体やACアダプター、ケーブル、コネクタ類を傷つけるおそれがあります。
- タブレットを薄型・軽量キーボードに取り付けた状態でパームレスト部だけを持って持ち上げないタブレットが薄型・軽量キーボードから落下し、けがをしたりタブレットが破損するおそれがあります。
- タブレットを接続した状態でディスプレイ（タブレット部分）を閉じる場合は、指や物をはさまないようにするけがや破損、故障が発生するおそれがあります。
- タブレットを接続した状態で画面をタッチするときは、強く押さない画面を強くタッチすると、本製品が倒れたり、キックスタンドが壊れたりするおそれがあり、けがや故障の原因となります。



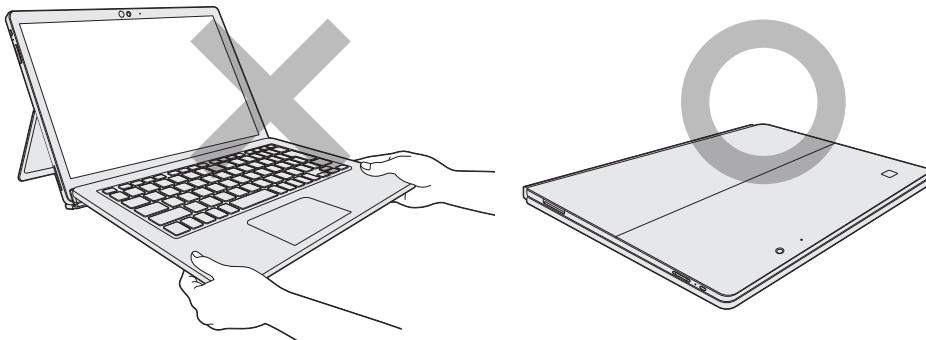
お願い

- タブレットを薄型・軽量キーボードに取り付けて使用する場合は、必ずタブレット背面のキックスタンドを広げてタブレットを立てかけてください。キックスタンドを広げずに使用すると、本体が倒れて故障するおそれがあります。
- タブレットを取り付けた状態で、ケーブル類を取り付ける／取りはずす場合は、必ずもう片方の手でタブレットを支えてください。タブレットを支えずに取り付け／取りはずしを行うと、本体が倒れて故障するおそれがあります（または、ケーブル、コネクタ類を傷つけるおそれがあります）。

2 タブレットの取り付け／取りはずし

- 左の図のように、薄型・軽量キーボードにタブレットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。タブレットが薄型・軽量キーボードから落下し、けがをしたり、破損するおそれがあります。

移動するときは、ディスプレイ（タブレット部分）を閉じ、タブレットと薄型・軽量キーボード両方を持ってください。タブレットだけ、あるいは薄型・軽量キーボードだけを持ち上げると、タブレットあるいは薄型・軽量キーボードが落下し、けがをしたり、破損するおそれがあります。



- 薄型・軽量キーボードを取り付けたまま手に持つて使用する場合は、薄型・軽量キーボードの背面とタブレットの背面を完全に合わせた状態にしてください。また、タブレットの通風孔部分を体から離すように持つてください。



お願い

ご使用にあたってのお願い

- ディスプレイ（タブレット部分）はゆっくり閉じてください。強く閉じると、ディスプレイの画面に傷がついたり、液晶パネルが故障するおそれがあります。

メモ

- 薄型・軽量キーボードを接続した状態で、画面表示の向きを変更することはできません。
- 次の状態で使用している場合、本体の温度上昇を抑えるため、CPU性能より冷却が優先されます。
 - タブレットのみで使用している場合
 - 薄型・軽量キーボードの背面とタブレットの背面を完全に合わせた状態で使用している場合CPU性能を優先したい場合はタブレットに薄型・軽量キーボードを接続して、右図の状態で使用してください。





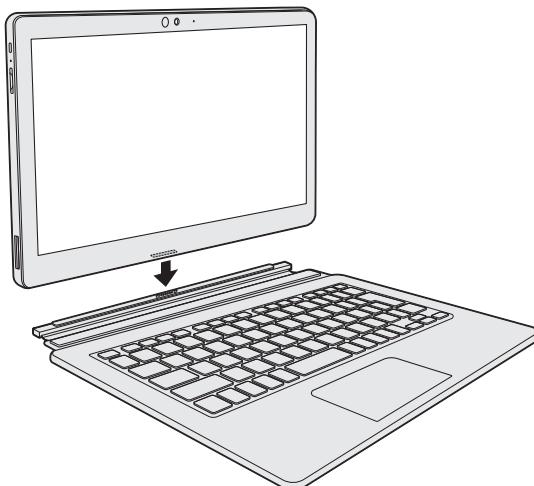
- 薄型・軽量キーボードの背面とタブレットの背面を完全に合わせた状態では、キーボードとタッチパッドを使用できません。
- タブレットに、キーボードドックと薄型・軽量キーボードを同時に接続することはできません。

1 薄型・軽量キーボードにタブレットを取り付ける

⚠ 注意

- タブレットを薄型・軽量キーボードに接続するときは、タブレットからケーブル類を抜く本体やACアダプター、ケーブル、コネクタ類を傷つけるおそれがあります。

- 1 タブレットから電源コード、周辺機器、ケーブル類を取りはずす
- 2 データを保存し、使用しているアプリケーションを終了する
- 3 タブレットのドッキングコネクタを薄型・軽量キーボードのドッキングコネクタに合わせてゆっくり近づける

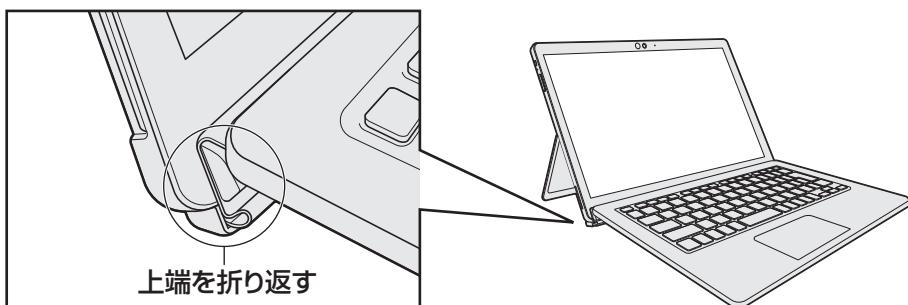


本体に内蔵されている磁石で、タブレットと薄型・軽量キーボードが固定されます。

- 4 タブレット背面のキックスタンドを広げて、タブレットを立てかける

5 薄型・軽量キーボードの上端を折り返してタブレットに近づける

薄型・軽量キーボードの上端がリフトアップされ、磁石で固定されます。



2 薄型・軽量キーボードからタブレットを取りはずす

タブレットを薄型・軽量キーボードから取りはずすときには、使用しているアプリケーションなどのプログラムをすべて終了させてください。

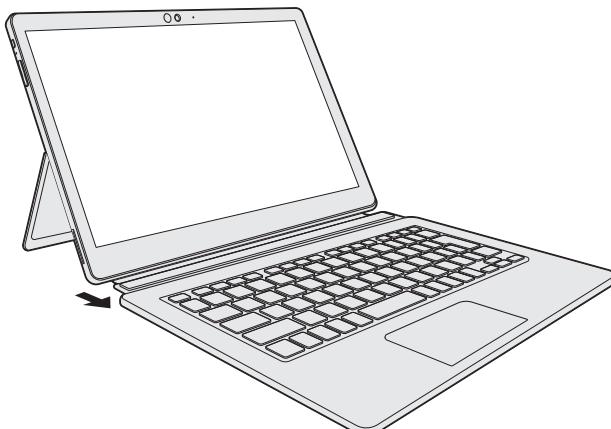
お願い

取りはずす前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失する可能性があります。

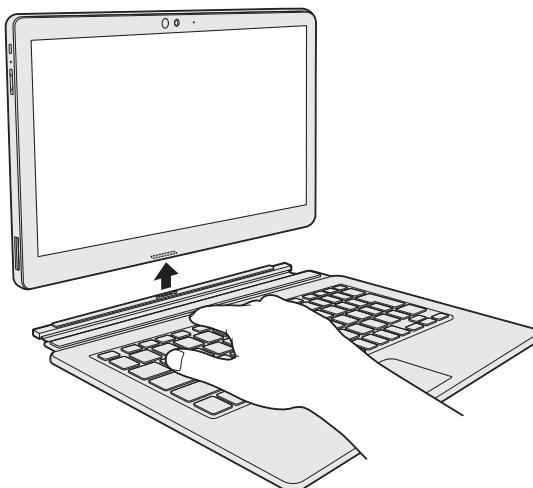
1 データを保存し、使用しているアプリケーションを終了する

2 タブレットを押さえながら、薄型・軽量キーボードを手前に引く リフトアップしていた接続部が平らになります。



3 キックスタンドを閉じて、タブレットを薄型・軽量キーボードから取りはずす

薄型・軽量キーボードを手でしっかりとおさえて、タブレットを持ち上げてください。



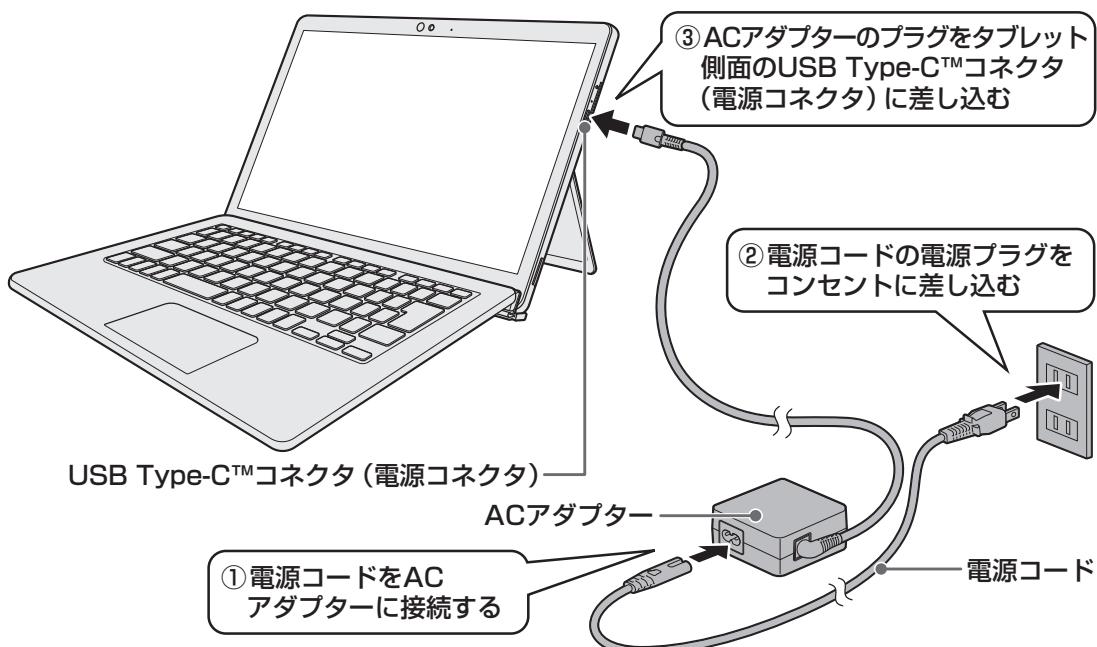
1 電源コードとACアダプターを接続する

あらかじめ、タブレットを薄型・軽量キーボードに接続してください。

参照 電源コードやACアダプターの取り扱いについて『取扱説明書 付録』

次の図の①→②→③の順で行ってください。

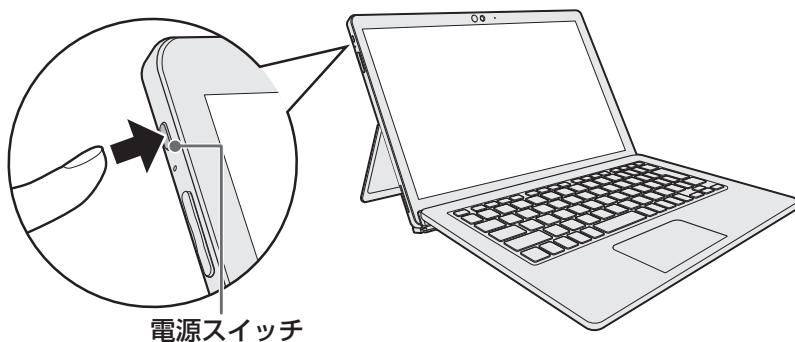
薄型・軽量キーボードを取り付けた状態で初めて電源を入れるときには、電源コードとACアダプターを接続してください。



参照 電源とバッテリーの状態をDC IN/Battery LEDで確認する『取扱説明書』

2 電源を入れる**1 タブレットの電源スイッチを押し、ロゴが表示されたら指をはなす**

確実に電源スイッチを押してください。



2

タッチパッド

1

タッチパッドで操作する

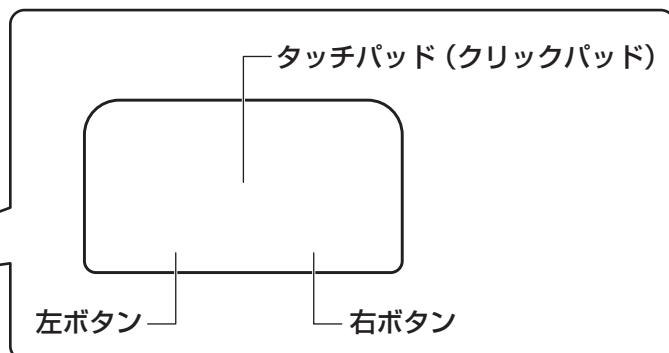
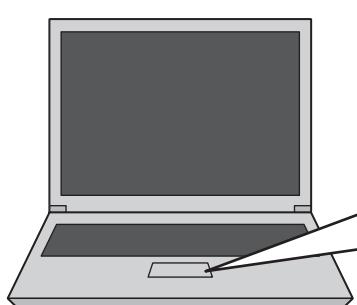
電源を入れてWindowsを起動すると、本製品のディスプレイに矢印が表示されます。この矢印を「ポインター」といい、操作の開始位置を示しています。この「ポインター」を動かしながら本製品を操作していきます。

薄型・軽量キーボードには、「ポインター」を動かすタッチパッドと、操作の指示を与える左ボタン／右ボタンがあります。

お願い

タッチパッドの操作にあたって

- タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。
タッチパッドが故障するおそれがあります。
- タッチパッドの上に、ものを置いた状態で使用しないでください。



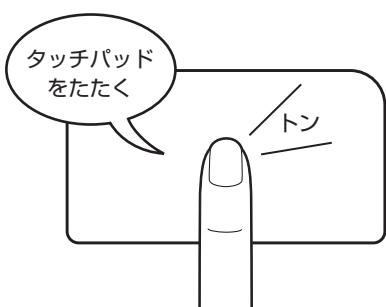
1 タッピングの方法

タッチパッドを指で軽くたたくことを「タッピング」といいます。

タッピング機能を使うと、左ボタンを使わなくても、次のような基本的な操作ができます。

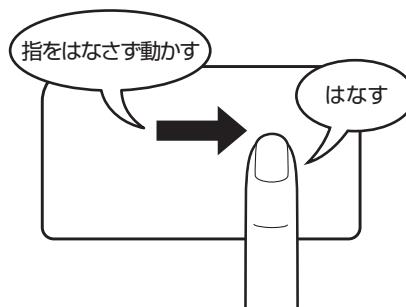
□ クリック／ダブルクリック

タッチパッドを1回軽くたたくとクリック、
2回たたくとダブルクリックができます。



□ ドラッグアンドドロップ

タッチパッドを続けて2回たたき、2回目はタッチパッドから指をはなさずに目的の位置まで移動し、指をはなします。



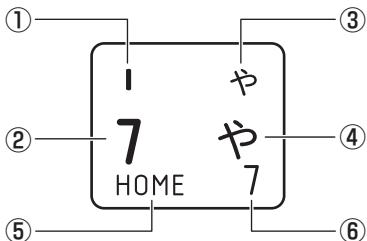
3

キーボード

各キーにはさまざまな機能が用意されています。複数のキーを組み合わせて押すと、いろいろな操作が実行できます。

1 キーボードの文字キーの使いかた

文字キーは、文字や記号を入力するときに使います。キーボードの文字入力の状態によって、入力できる文字や記号が変わります。



①	ほかのキーは使わず、そのまま押すと、アルファベットの小文字などが入力できます。 [SHIFT]キーを押しながら押すと、記号やアルファベットの大文字が入力できます。
②	ほかのキーは使わず、そのまま押すと、数字や記号が入力できます。
③	かな入力ができる状態で[SHIFT]キーを押しながら押すと、記号、ひらがなの促音 <small>そくおん</small> （小さい「っ」）、拗音 <small>ようあん</small> （小さい「や、ゅ、ょ」）などが入力できます。
④	かな入力ができる状態で押すと、ひらがなや記号が入力できます。
⑤	アローモードのときに押すと、カーソル制御キーとして使えます。
⑥	数字ロックモードのときに押すと、テンキーとして使えます。

*お使いのモデルにより、キーボードに印刷されている文字の配置は異なります。

2 [FN] キーを使った特殊機能キー

キー	内容
[FN] + [ESC] <スピーカーのミュート>	[FN]キーを押したまま、[ESC]キーを押すたびに本体のスピーカーやヘッドホンの音量のミュート(消音)のON/OFFが切り替わります。
[FN] + [SPACE] <ディスプレイの解像度切り替え>	[FN]キーを押したまま、[SPACE]キーを押すたびにディスプレイの解像度が切り替わります。
[FN] + [S] <検索画面の表示>	*対応モデルのみ [FN]キーを押したまま、[S]キーを押すと、検索対象を選択する画面が表示されます。
[FN] + [F1] <インスタントセキュリティ機能>	コンピューターをロックします。 解除するには、[ENTER]キーを押してください。Windows パスワードを設定している場合は、パスワード入力欄に Windows パスワードを入力し、[ENTER]キーを押してください。
[FN] + [F2] <電源プランの切り替え>	[FN]キーを押したまま、[F2]キーを押すたびに電源プラン(dynabook 標準/eco ^{*1} /バランス)が切り替わります。
[FN] + [F3] <スリープ機能の実行>	[FN]キーを押したまま、[F3]キーを押すと、スリープ機能が実行されます。
[FN] + [F4] <休止状態の実行>	[FN]キーを押したまま、[F4]キーを押すと、休止状態になります。
[FN] + [F5] <表示装置の切り替え>	表示装置を切り替えます。 ^{*2} 参照 ▶ 詳細について『活用編』
[FN] + [F6] <ディスプレイの輝度を下げる>	[FN]キーを押したまま、[F6]キーを押すたびにディスプレイの輝度が下がります。
[FN] + [F7] <ディスプレイの輝度を上げる>	[FN]キーを押したまま、[F7]キーを押すたびにディスプレイの輝度が上がります。

*1 あらかじめ eco ユーティリティで「eco モード」をオンに設定し、電源プラン「eco」を作成しておく必要があります。

参照▶ eco ユーティリティ『活用編』

*2 HDMI[®]出力端子、RGB コネクタを使用した切り替えは、USB Type-C[™]アダプター付属モデルのみ

キー	内容
[FN] + [F8] <無線通信機能のON/OFF>	[FN]キーを押したまま、[F8]キーを押すたびに、無線通信機能（無線LAN機能 ^{*1} ／Bluetooth [®] 機能 ^{*2} ／ワイヤレスWAN機能 ^{*3} ）のON/OFFが切り替わります。 [機内モードオフ]にすると無線通信機能はONになります。 [機内モードオン]にすると無線通信機能はOFFになります。
[FN] + [F9] <タッチパッドON/OFF>	[FN]キーを押したまま、[F9]キーを押すたびにタッチパッドの有効／無効を切り替えます。
[FN] + [F10] <アローモードのON/OFF>	[FN]キーを押したまま、[F10]キーを押すと、アローモードになります。キー左下に灰色で印刷されているカーソル制御キー（↑、↓、←、→、HOME、PGUPなど）として使えます。アローモードを解除するには、もう一度[FN]+[F10]キーを押します。
[FN] + [F11] <数字ロックモードのON/OFF>	[FN]キーを押したまま、[F11]キーを押すと、数字ロックモードになります。キー右下に灰色で印刷されているテンキー（1、2、3など）として使えます。数字ロックモードを解除するには、もう一度[FN]+[F11]キーを押します。アプリケーションによっては異なる場合があります。
[FN] + [F12] <スクロールロックのON/OFF>	一部のアプリケーションで、↑↓←→キーを画面スクロールとして使用できます。ロック状態を解除するには、もう一度[FN]+[F12]キーを押します。
[FN] + [↑] <PGUP (ページアップ)>	一部のアプリケーションで、[FN]キーを押したまま、[↑]キーを押すと、前のページに移動できます。
[FN] + [↓] <PGDN (ページダウン)>	一部のアプリケーションで、[FN]キーを押したまま、[↓]キーを押すと、次のページに移動できます。
[FN] + [←] <HOME (ホーム)>	一部のアプリケーションで、[FN]キーを押したまま、[←]キーを押すと、カーソルが行または文書の最初に移動します。
[FN] + [→] <END (エンド)>	一部のアプリケーションで、[FN]キーを押したまま、[→]キーを押すと、カーソルが行または文書の最後に移動します。
[FN] + [1] <縮小>	一部のアプリケーションなどで、[FN]キーを押したまま、[1]キーを押すと、画面やアイコンなどが縮小されます。
[FN] + [2] <拡大>	一部のアプリケーションなどで、[FN]キーを押したまま、[2]キーを押すと、画面やアイコンなどが拡大されます。
[FN] + [3] <音量小>	[FN]キーを押したまま、[3]キーを押すたびに音量が小さくなります。
[FN] + [4] <音量大>	[FN]キーを押したまま、[4]キーを押すたびに音量が大きくなります。

* 1 無線LAN機能搭載モデルのみ

* 2 Bluetooth[®]機能搭載モデルのみ

* 3 ワイヤレスWAN機能搭載モデルのみ

薄型・軽量キーボードを使用しているときのトラブルの解決方法をQ&A形式で説明しています。ここに掲載しているQ&A集のほかに、『活用編』にもQ&A集があります。目的の項目が見つからないときは、『活用編』も参照してください。

1 電源

Q 不定期に勝手に電源が入ることがある

A パネルオープンパワーオン機能が設定されている可能性があります。

ディスプレイを開くと、自動的に本製品の電源が入るパネルオープンパワーオン機能が有効になっている可能性があります。

次の手順で、パネルオープンパワーオン機能の設定を解除できます。

- ① [スタート] ボタン (Windows) をクリックする
- ② [dynabook セッティング] をクリックする
- ③ [起動オプション] をクリックする
- ④ [パネルオープンパワーオン] で「無効」を選択する

Q 画面が薄暗く、よく見えない

A $[FN]$ + $[F7]$ キーを押して、ディスプレイ（画面）を明るくしてください^{*1}。

$[FN]$ + $[F6]$ キーを押すと、逆に、ディスプレイは暗くなります。

* 1 この設定は、テレビと外部ディスプレイには反映されません。

Q ディスプレイ（タブレット部分）を閉じると、電源が切れる、またはスリープ／休止状態になる

A パネルスイッチ機能が設定されている可能性があります。

ディスプレイを閉じると、あらかじめ設定した状態（スリープ状態／休止状態／シャットダウン）へ移行するパネルスイッチ機能が有効になっている可能性があります。

次の手順で、パネルスイッチ機能の設定を解除できます。

- ① [スタート] ボタン (Windows) をクリックする
- ② [Windows システムツール] → [コントロールパネル] をクリックする
- ③ [ハードウェアとサウンド] をクリックする
- ④ [電源ボタンの動作の変更] をクリックする
- ⑤ [カバーを閉じたときの動作] で「何もしない」を選択する
[バッテリ駆動] と [電源に接続] にそれぞれ設定してください。
- ⑥ [変更の保存] ボタンをクリックする

2 キーボード

Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった

A 飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。

もし、液体が本製品内部に入ったときは、ただちに電源を切り、電源コードとACアダプター、キーボードを取りはずして、dynabook あんしんサポート 修理相談窓口にご相談ください。

Q キーボードから文字を入力しているときにカーソルがとんでもしまう

A 文字を入力しているときに誤ってタッチパッドに触ると、カーソルがとんだり、アクティブウィンドウが切り替わってしまうことがあります。

次の手順でタッチパッドを無効に切り替えてください。

① **[FN] + [F9]** キーを押す

有効／無効が切り替わります。

Q キーボードで入力できない文字がある（バックスラッシュなど）

A 日本語フォントでは「\」は入力できません。

****キーを押すと「¥」が表示されますが、「\」と同じ機能を持ちます。

Q 日本語の入力ができない

A 日本語入力システムの入力モードが対応していない状態になっています。

[半/全]キーを押して、入力モードを切り替えてください。

参照 ➔ 日本語入力システム『「Microsoft IME」のヘルプ』

Q キーボードで入力モードを切り替えたい

A 次のショートカットキーを利用して入力モードを変更できます。

● **[SHIFT] + [CAPS LOCK 英数]** キー : 大文字ロック状態

● **[ALT] + [カナ/かな]** キー : ローマ字入力／かな入力

Q 記号や特殊な文字を入力したい

A 次の手順で文字コード表から希望の文字を探してください。

① [スタート] ボタン (Windows) をクリックする

② [Windows アクセサリ] → [文字コード表] をクリックする

[文字コード表] 画面が表示されます。

③ [フォント] を選択し、[文字コード表] の使用したい文字をクリックして [選択] ボタンをクリックする

[コピーする文字] の欄に指定した文字が入力されます。

④ [コピー] ボタンをクリックする

⑤ 文書を開いているアプリケーションのメニューから [貼り付け] をクリックする

文書に手順③で指定した文字が挿入されます。挿入された文字には、手順③で選択したフォントを指定してください。

A Microsoft IME には [IMEパッド] という機能があります。

この一覧から希望の文字を探すことができます。

Q キーの反応スピードを変更したい**A** 次の手順で【キーボードのプロパティ】の設定を変更してください。

- ① [スタート] ボタン (Windows) をクリックする
- ② [Windows システムツール] → [コントロールパネル] をクリックする
- ③ 「表示方法」の [カテゴリ▼] をクリックし、[大きいアイコン] または [小さいアイコン] をクリックする
- ④ [キーボード] をクリックする
[キーボードのプロパティ] 画面が表示されます。
- ⑤ [速度] タブの [表示までの待ち時間] や [表示の間隔] のつまみを左右にドラッグして調節する
- ⑥ [OK] ボタンをクリックする

Q ファンクションキーの使いかたは？**A** キーボードの上段にあるファンクションキーには便利な機能があります。

ただし、割り振られている機能の多くはアプリケーションごとに違いがあります。

参照▶『各アプリケーションに付属している説明書』

多くのアプリケーションでは、次のように割り振られています。

- **F1** キー : ヘルプの呼び出し
- **F2** キー : ファイル名の変更
- **F3** キー : ファイルの検索
- **F5** キー : 最新の状態に更新
- **F6** キー : ひらがなに変換
- **F7** キー : 全角カタカナに変換
- **F8** キー : 半角カタカナに変換
- **F9** キー : 全角アルファベットに変換
- **F10** キー : 半角アルファベットに変換

3 タッチパッド**Q タッチパッドをクリックしても反応がない****A** タッチパッドのみ操作を受け付けない場合、タッチパッドが無効に設定されている可能性があります。

次の手順でタッチパッドを有効に切り替えてください。

- ① **FN** + **F9** キーを押す
有効／無効が切り替わります。

Q ダブルクリックがうまくいかないので、速度を変更したい**A** 次の手順で、ダブルクリックの速度を調節してください。

- ① [スタート] ボタン (Windows) をクリックする
- ② [Windows システムツール] → [コントロールパネル] をクリックする
- ③ [ハードウェアとサウンド] → [マウス] をクリックする
[マウスのプロパティ] 画面が表示されます。
- ④ [ボタン] タブで [ダブルクリックの速さ] または [ダブルクリックの速度] のスライダーバーを左右にドラッグして調整する
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする

Q ポインターの速度を調節したい

A 次の手順でポインターの速度を変更してください。

- ① [スタート] ボタン (■) をクリックする
- ② [Windows システムツール] → [コントロールパネル] をクリックする
- ③ [ハードウェアとサウンド] → [マウス] をクリックする
[マウスのプロパティ] 画面が表示されます。
- ④ [ポインター オプション] タブで [速度] のスライダーバーを左右にドラッグして調整する
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする

4 その他

Q 薄型・軽量キーボードのキーボードやタッチパッドに触っても反応がない

A 薄型・軽量キーボードが正しく認識されていない可能性があります。

薄型・軽量キーボードのキーボードやタッチパッドなどを操作しても反応しない場合があります。次の手順で薄型・軽量キーボードをリセットしてください。

- ① 電源を切る
- ② 電源コードとACアダプターを取りはずす
- ③ 薄型・軽量キーボードからタブレットを取りはずす
- ④ タブレットを薄型・軽量キーボードに接続し、電源を入れる

1 日常の取り扱いとお手入れ

『安心してお使いいただくために』の「安全上のご注意」、「ご使用上のお願い」に、日常の取り扱いとお手入れをするときに守ってほしいことが記述されています。あらかじめその記述をよく読んで、指示を守ってください。

日常の取り扱いでは、次のことも守ってください。

薄型・軽量キーボード

柔らかい乾いた素材のきれいな布でふいてください。

汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってふきます。

キーのすき間にゴミが入ったときは、エアーで吹き飛ばすタイプのクリーナーで取り除きます。ゴミが取れないときは、使用している機種名を確認してから、dynabook あんしんサポート 修理相談窓口または保守サービスに相談してください。

飲み物など液体をこぼしたときは、ただちに電源を切り、ACアダプターを取りはずして、dynabook あんしんサポート 修理相談窓口または保守サービスに相談してください。

タッチパッド

乾いた柔らかい素材のきれいな布でふいてください。

汚れがひどいときは、水かぬるま湯に浸した布を固くしぼってからふきます。

2 アフターケアについて

修理サービスについて

修理サービスのご相談は、dynabook あんしんサポート 修理相談窓口または保守サービスへお問い合わせください。

参照 ➔ サービス＆サポートのご案内『取扱説明書』

■ ディスプレイの取り扱いについて

- キーボードの上に、ペンなどものを置いたままディスプレイ（タブレット部分）を閉じないでください。

製品名	薄型・軽量キーボード
環境条件 ^{*1}	温度：5°C～35°C 湿度：20%～80%（ただし、結露しないこと）
外形寸法 ^{*2} (突起部含まず)	約316.0（幅）×212.5（奥行）×15.1（高さ）mm
質量	約380g

* 1 環境条件に示している温度範囲は、性能を保証するものではありません。

* 2 薄型・軽量キーボードにタブレットを取り付けた場合